28年4月分　　合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1．調査実施期間

平成28年4月1日～ 28年4月10日

2．調査実施方法

全国の合板工場-1に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
4月分の回答企業数は5社である。

3．判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)＝{(「増加」の評価を行った回答の割合)×2＋(「やや増加」の評価を行った回答の割合)－(「減少」の評価を行った回答の割合)×2－(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4．調査結果の概要

(1) 国産原木入荷動向　Weight.Ｄ.Ｉ.

品目		28/4月	5月	6月
入荷動向	スギ	0.0	△ 33.3	66.7
	ヒノキ	△ 66.7	△ 33.3	33.3
	カラマツ	△ 50.0	△ 33.3	0.0
	トドマツ	△ 50.0	△ 50.0	0.0
消費動向	スギ	0.0	△ 33.3	66.7
	ヒノキ	△ 33.3	△ 33.3	33.3
	カラマツ	25.0	0.0	33.3
	トドマツ	0.0	0.0	50.0
在庫動向	スギ	△ 25.0	0.0	0.0
	ヒノキ	0.0	0.0	0.0
	カラマツ	△ 75.0	△ 33.3	△ 66.7
	トドマツ	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0

・スギ原木の入荷は4月の横ばいが、5月は減少、6月は増加。ヒノキは4月、5月の減少が6月は増加。カラマツ及びトドマツは4月、5月の減少が、6月は横ばい

・スギ原木の消費は4月の横ばいが、5月は減少、6月は増加。ヒノキは4月、5月の減少が、6月は増加。カラマツは4月の増加が、5月横ばい、6月は増加。トドマツは4月、5月の横ばいが、6月は増加。

・スギ及びヒノキ原木の在庫は4月にスギの減少があるが、総じて横ばい。カラマツ及びトドマツは3ヵ月連続して減少。

(2) 合板用原木購入価格動向　Weight.Ｄ.Ｉ.

品目	28/4月	5月	6月
スギ	0.0	0.0	0.0
ヒノキ	0.0	0.0	0.0
カラマツ	0.0	33.3	33.3
米マツ	0.0	0.0	△ 50.0
北洋カラマツ	0.0	0.0	100.0
その他	－	－	－

・スギ、ヒノキ及び北洋カラマツの原木価格は3ヵ月連続して横ばい。カラマツは4月の横ばいが、5月、6月は強含み。

・米マツは4月、5月の横ばいが、6月は弱含み。

モニターからのコメント

（原木荷動き）
・安定的に入荷。3月と生産量変わらず消費はほぼ横ばい。
・カラマツ以外は問題なく入荷。5月は連休にて消費減。
・生産見通し横ばい、在庫はカラマツ少なめ。
・消費に合わせて入荷も制限し、減少。4,5月は稼働日が減るので、消費も減るが、6月以降は増える。在庫は横ばいをキープしたい。

（原木価格）
・3月とほぼ同じ。
・カラマツ取り合いで価格上昇。
・変化なし。
・市場価格は下がってきている。様子を見る。

28年4月分　　合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

４.調査結果の概要

(1) 生産動向　Weight.Ｄ.Ｉ.

品目		28/4月	5月	6月
生産動向	構造用(9mm)	50.0	33.3	33.3
	〃 (12mm)	0.0	25.0	25.0
	〃 (15mm)	20.0	25.0	25.0
	〃 (24mm)	60.0	25.0	25.0
	〃 (28mm)	20.0	25.0	25.0
出荷動向	構造用(9mm)	0.0	33.3	33.3
	〃 (12mm)	0.0	25.0	25.0
	〃 (15mm)	0.0	25.0	25.0
	〃 (24mm)	0.0	25.0	25.0
	〃 (28mm)	20.0	50.0	25.0
在庫動向	構造用(9mm)	0.0	0.0	0.0
	〃 (12mm)	0.0	0.0	0.0
	〃 (15mm)	0.0	0.0	0.0
	〃 (24mm)	0.0	0.0	0.0
	〃 (28mm)	0.0	△ 33.3	0.0

・合板の生産は、12mmの4月が横ばいであるが、総じて3ヵ月連続して増加の傾向。

・合板の出荷は、28mmの4月の増加であるが、総じて4月は横ばい、5月、6月は増加。

・合板の在庫は、28mmの5月が減少であるが、総じて3ヵ月連続して横ばいで推移。

(2) 構造用合板出荷価格動向　Weight.Ｄ.Ｉ.

品目	28/4月	5月	6月
構造用(9mm)	0.0	33.3	33.3
〃 (12mm)	0.0	0.0	0.0
〃 (15mm)	0.0	0.0	0.0
〃 (24mm)	0.0	0.0	0.0
〃 (28mm)	0.0	0.0	0.0

・合板の出荷価格は、9mmが4月の横ばいから5、6月は強含み。12mm,15mm,24mm及び28mmは3ヵ月連続して横ばい。

モニターからのコメント

（合板荷動き）
・3月は予定した以上に9mm、24mmの出荷が多かったため、その分12mmを減らす。端境期で苦戦しそうだが、生産分はなんとか出荷できそう。4月生産分は出荷出来ると思うので、在庫は横ばい。
・グループ事故で生産増。不足分出荷増へ。
・受注見通しに変化なし。28mm増加傾向。28mmは出荷増で、在庫減少。
・在庫量、製品の荷動きに合わせて生産する。横ばい。仮需も年度末にかけて消化、発注も徐々に勢いはなくなる。ルート向けは低調に推移すると見られ、在庫は増えて行く。

（合板価格）
・メーカー出し値は変えていないものの、流通での価格が乱れたところもあった。
・先行き、上昇傾向。
・弱含み傾向。
・荷動き鈍く、価格上昇は期待出来ない。